



あきの空 あいぞめの 色 あさぎ色



あさぎまだら



藍染めの和紙
で作った
アサギマダラ



園で見つけたキタキチョウ



家に来たアサギマダラ

10月の園の花 ススキ

明徳幼稚園で「藍生葉染め」をやるというので見に行きました。10名もの保護者の方が藍の葉っぱをもぎる作業中でした。「美しい色に染めたい」というみんなの熱気が伝わってきました。専門家の保護者の指導の元、タデアイを種から園で育てました。園児も生葉をもぎることから体験し、大きな鍋に模様が出るように工夫した手ぬぐいを漬けました。タデアイの液は、日光や空気に触れると水に溶けないインディゴに変化します。浅葱色（あさぎいろ）に染まった布を園庭につるして乾かしました。多くの人の協力によってきれいな色の布が完成です。私も和紙を染め、その和紙を使ってアサギマダラの蝶の模型を作りました。模型は園に飾っておきます。アサギマダラは旅をする蝶として有名です。岩倉には10月初旬にフジバカマの花を求めて、石川県などから渡って来ます。園の庭にフジバカマの花苗を植えました。フジバカマは秋の七草のひとつです。いつの日か風に乗ってアサギマダラが来てくれることを願っています。園庭では、今、背の高いススキが秋風にゆれています。おすすめの本は、「小さな里山を作る チョウたちの庭 今森光彦」と「藍染ガイドブック」です。この2冊の本は、岩倉図書館にあります。季節の自然を通して、親子の対話がふくらめばとてもうれしいです。

明徳幼稚園や公園で見つけた自然通信

2022年9・10月号 岩倉自然学習ボランティア 村上 幹夫

